

## 新設 江東橋託兒場に就いて

保姆主任 梶 塚 要 子

市社會局救護課の經營にかゝる江東橋託兒所が、本所入江町二十四番地に新築なりて、去る六月二十日からいよ／＼開始される事になりました。

先づ此の託兒場の建築に就いて申し上げますれば、新設費は總計で六萬九千七百五拾貳圓九拾壹錢、内譯土地買收費は參萬貳百五拾貳圓八拾錢、建築費は參萬五千六百五拾九圓參拾八錢であります。備品費は參千六百四拾圓七拾錢で、この中には事務用保育用備品、運動用具の費用も加つて居ります。その他雜費貳百圓を要しました。これは新設費の全部であります。が、經常費(但六月以降十箇月分)は七千百貳拾圓と定められてあります。この託兒場の敷地面積は二百九十四坪九・四五で、その中總建坪は百五十四坪五合あります。託兒場内部を詳細に述べますれば、來客や教師の出入する玄關の外に、小兒の出入する小兒玄關が設けられて、其處には下駄箱、傘置場等整然と竝んで居ります。來客用の玄關からは、廊下

をへだて、直ぐ事務室になつて居りまして、事務室の前には、「子供を預けたい人は此處へお話し下さい」と振假名つきの札をかがげて置きました。玄關から直ぐ見えるやうになつてゐますから、この託兒場を訪れる人はどんな老人でも、また無學な労働者の妻でも、一見して子供を預ける手續が解るやうに致した積りでございます。この託兒場内で最も廣い室は、乳兒室と遊戯室とであります。乳兒室は十八坪の廣さを有し、床は全部キルクを張りつめ、只今十臺の寢臺と乳母車、搖籃等があります。寢臺には柔らかい厚い藁布團の上に、更に綿のふつくりとはいつた布團、毛布、ねまき等をそなへてあります。小兒の數が増加するにつれて寢臺や乳母車、搖籃等も數を増す考へで居ります。乳兒室は窓が多くて日當りもまことよろしく、通氣の加減も適當であります上に、この室の前には、板敷の露臺が運動場の方へつき出て居りまして、この露臺には屋根があり

ますから、夏は小兒達の涼み場となりませうし、冬は日向ぼっこをする所となりませう。遊戯室は三十五坪の廣さで、此處も乳兒室と同じく、牀は全部キルクが用ひられ、オルガン、其他の運動器具が備へられてあります。また十疊敷位の匍匐室があつて、やつとはふ事の出来る位の小兒を入れて置く室であります。お晝寝をさせたり手工を教へたりする爲には、寢室兼手技室が二室、保育や食堂に用ひる爲めに、保育兼食堂が二室、其他乳兒控室、保姆控室、乳兒の食器を入れたり食物を料理したりする爲の乳兒食器室。病兒のための治療室、日を定めて小兒を入浴させる爲めの浴室、小兒の衣服を洗濯してやる洗濯所、小兒湯呑場もあつて、その湯呑場にはお辨當棚が備へられてあります。夏は空氣ぬきがあり、冬は金網をあたゝめるやうにしてあつて、小兒のお辨當には充分注意を拂ふて行く積りでございます。其他便所、小使室、物置等も中々立派なものです。運動場も可成りに廣くて、ブランコ、スベリダイ等、小兒にあぶなくない低いものが備へられてあります。託兒所の建築としては、新しく理想的のものでありませう。

この託兒場の經營方針を大體申して見ますと、受託兒は百五十人(内二十六人は六箇月以上の乳兒)と定めまして、教育としては、幼兒には一般幼稚園の課程に準じて、遊戯、唱歌、談話、手技を課すことに致して居ります。受託時間は朝六時から夕六時までとして、休日は正月三日間及び毎月一日と十五日にして居ります。保育料は、毎朝貳錢づつとして、他におやつ代として貳錢、一日に四錢を要すことにしてあります。但しおやつその他の食物お辨當のやうなもの各自持参させますが、乳兒でも母親が乳を與へに来るひまのないには、特に牛乳を與へますから、その牛乳代として一合七錢位を要しますし、離乳期にある小兒は、普通の小兒のやうな食物を與へることが出来ませんから、お粥のやうなものや、馬鈴薯をすりつぶしたやうな種類の、極く柔らかい食物を、毎日私共保姆が料理をして與へようと思へますから、五錢前後の食費を頂戴しなければならぬだらうと思つて居ります。然し食物の費用は出来るだけ少くし、また保育料も事情に依りては減免することもあります。また毎月一回は保護者を開きます又同時に開くことも致しまして、保護者との親睦を

はかり、育児上の相談にもものつてやるつもりで居ります。只今保母は私をのぞきまして五人居りますが皆力を合せて盡力する考へで居ります。

私共の仕事は小兒相手でございますから、中々時間通りには實行が出来ないかも知れませんが、兎に角く時間割を定めて見ました。こゝへ兒童を乳兒、匍匐兒、匍歩兒、幼兒、幼稚兒の五種に區分して、左の通りの時間表を定めました。

(一) 午前六時——八時この二時間の中にぼつ／＼母親が兒童を連れて來るものと看做しまして、八時迄は保母監督の中に自由に遊ばして、兒童の集るのを待ちます。

(二) 午前八時——九時、衛生及び整裝に取掛かること、即ち手洗、結髪(女兒には必要に應じて)、爪切り、トラホーム治療、腫物、頭虱等の手當、鼻拭き、便所に行かします。乳兒と匍匐兒とは各其室に於て、硼酸水で口中を拭ひ、又目を洗ひ、顔を拭き、襦袢を取替へてやります。匍歩兒と幼兒は便所に連れて行き、又は室内に於て便器にさせます。

(三) 午前九時——九時半、幼兒及び幼稚兒を一室に

集めて、三十分以内のお話を聞かせます。同時に乳兒と匍匐兒と匍歩兒には、牛乳又は代用食を與へます。

(4) 九時半——十時、自由遊戯。

(5) 十時——十時半、手藝及び遊戯。

(6) 十時半——十一時、自由遊戯。

(7) 十一時——十一時半、手洗ひ晝食の準備。

(8) 十一時半——晝食(朝食が早いから晝食も三十分位早くします)。

(9) 晝食後——十二時半迄、自由にさせます。

(10) 十二時半——晝寝をさせます。七八歳になりて晝寝の必要ないものは、寢たがる小兒には寢せて、

小兒の自由にさせます。晝寝の時間は十二時半から午後二時までと定めてありますが、場合によりて斟酌して頂きたいのです。

(11) 午後二時——二時半、遊戯、唱歌、手工等。

(12) 二時半——手洗。

(13) 三時——おやつを與へます。

(14) おやつ後四時迄——自由にさせて置きます。

(15) 午後四時——衛生、整裝を行ふのは、午前入場の時と同じです。但し入浴日にはおやつ後直に入浴

させます。入浴は夏季は毎日、冬季は一週二回位。  
 (16) 四時—六時、この間に歸宅の準備に取掛りま  
 して、六時迄には全部退場させます。然し事情あ  
 るものは六時以後も留りても差つかへありませ  
 ん。こちらでは喜んでお世話致します。

さてこの江東橋託児場は、煙突が空を覆ひ、雨が  
 降ればいつまでも泥道となるといふ下町に立てられ  
 ましたのですから、労働者の家庭の子供が全部預け  
 られるのであります。お父さんもお母さんも、それ  
 ぞれに工場へ日傭となつて労働するのに、子供があ  
 つては充分働けない、自分等が一日安心して子供の  
 世話をして貰ふやうな所があれば、といふ要求を充  
 たす爲にされたのであります。いかに本所區には勞  
 働者が多く住してゐるか、また子供が毎年どの位  
 生れて、どの位死するか等を見ますと、この江東橋  
 託児所任務もいよゝゝ明らかに重大な事がわかりま  
 す。

本所區労働者調べ(一般世帯數 二六〇九二  
 労働者世帯數 一一三七〇)

- 一般世帯數
- 労働者世帯數
- 柳島元町……………一二〇〇
- 九〇〇
- 向島中の郷町……………七九〇
- 四五〇

中の郷業平町……………	一七〇〇	八五〇
太平町……………	三二三三	一八〇〇
柳島横川町……………	七五〇	四五〇
柳島梅森町……………	二五八〇	一二〇〇
押上町……………	二五八五	一四〇〇
表町……………	一二〇〇	一五〇
荒井町……………	五五〇	一八〇
若宮町……………	一五〇〇	二二〇
番場町……………	八八〇	二二〇
中の郷横川町……………	五八六	二七〇
松倉町二丁目……………	一〇〇〇	三〇〇
松倉町一丁目……………	四二〇	一七〇
小梅業平町……………	四七〇	一五〇
南二葉町……………	八二〇	五六〇
緑町四丁目……………	六八〇	三二〇
緑町三丁目……………	八八〇	三七〇
長岡町……………	九〇〇	三八〇
花町……………	五八〇	四〇〇
菊川町……………	一六〇〇	三二〇
徳右衛門町……………	一〇〇〇	三五〇

本所區内に於ける出産調(大正七年度調)

出産數	生産數	死産數	出産數	生産數	死産數
一月 八二二	男四一三 女三六一	男二五 女二三	八月 五三三	男二三三 女二四五	男二六 女二九
二月 七〇四	計七七四 男三二六 女三一八	計四八 男三〇 女三〇	九月 五九一	計四七八 男二七四 女二六九	計五五 男一四 女三四
三月 八九八	計六四四 男四四八 女四〇五	計六〇 男二四 女二一	十月 六〇九	計五四三 男二九六 女二七一	計四八 男二〇 女二一
四月 六二三	計八五三 男二七二 女三〇一	計四五 男二六 女二四	十一月 五五九	計五六七 男二八八 女二七三	計四一 男二一 女二一
五月 五五三	計五七三 男二六〇 女二四三	計五〇 男二六 女二四	十二月 五〇九	計五六一 男二五〇 女二〇六	計三八 男二六 女二七
六月 四一六	計五〇三 男一九九 女一九四	計五〇 男九 女一四	總計 七二六一	計四五六 男三四五二 女三二六八	計五七 男二六一 女二七九
七月 四〇四	計三九三 男一九三 女一八三	計二三 男一六 女二三	死産千分比七〇七四。	計六七二〇	計五四一

このやうに勞働者の家庭の子供を教育するといふ

將來の誠に有望な立派な位置に、私のやうなふつつかな者が任じられましたことは、自分ながら心配の多い事でございます。私は大阪のプール女學校を卒業致しまして以來、二年程尙ほ研究を積みまして後、

母校の教鞭を三年程とつて居りましたのでございませうが、元來幼い子供に親しみを持つて居りましたので、どうかして將來は幼い子の教育に従事したいとその頃から望んで居りました。その中米國カルフォルニアに參るやうになり、幼児の保護や教育等に於ては我が國の先輩である彼地の有様を見るにつれ、尙ほ〳〵私の希望は切になつてまゐりました。その中基督教信者で傳導に従事して居りました只今の主人に嫁し、日本に歸つてまゐりまして、今はもう十五歳をかしらに六人の子持でございますか、どうかして若い頃からの初一念を貫きたいと存じ、又主人も大層賛成して來れましたので、勇み立つて今から六ヶ月程以前市社會局の救護課に入り、兒童保護員として勤めて居りました。今度この江東橋託兒場が新設されたについて、こちらの方へ參ることになりましたのでございます。私自身が現在幼いわが兒の母であり、又多年熱望してやまなかつた事業に、こ

れから専心して活動しようといふ希望は燃えて居りますが、何にしろいたらぬ所の多い身でございますから、社會の皆様にご指導を頂きたいと存じます。

#### ○日本幼稚園協會總會

本會第二十六回總會は既報のごとく去る六月二十五日午後一時半から女教師講堂で開かれました。湯原會長の挨拶に會は初まり松村博士の童語に關する講演に移りました。二時間にわたるこの有益にして興味ふかき講話に聴衆は吸ひこまれました。それから麴町小學校生徒の對話唱歌がありました。夢の太郎、はい〳〵息子、人形の病院などを快活に元氣に歌ひ語つて皆を喜ばせ笑はせました。その中でもハイ〳〵息子は滑稽な中に世の親達に對する一つの教訓となつてゐるように思はれました。筋は、両親の言ひ付けをよく守る一人の子供が、父と母との正反對な言ひつけをそのまゝ、實行する。ためそこに滑稽な皮肉なことがおこるといふのです。ある朝、學校へ行く時に父は草履をはいて日向を歩くと云ひ、母は足駄をはいて日蔭をあるけといふ、そこでこの子は一方の足に、草履、他の足に足駄をはいてガッターリパッターリと日向と日蔭を筋違ひにあるくといふので皆を笑はせます。聴衆の中でも大分母親が多かつたのですが、自分の家のことをいはれてゐるやうだと可笑しいながらに感じて居られました。

終りに一同茶菓を喫しつゝ、互に懇談し薄暮の頃散會致しました。集るもの二百人以上で、まことに心地のよい會でした。